



Fan De Nagoya
Art Exhibition
ファン・デ・ナゴヤ
美術展

名古屋市文化基金事業 ファン・デ・ナゴヤ美術展 2024

2024 **1/12** Fri → **21** Sun

未知の形を発見しよう!

線を 掴む



三科 琢美

■ 開館時間 10:00 ~ 19:00

1/14・21(日)は17:00まで

※休館日: 1/15(月)

■ 会場 名古屋市民ギャラリー矢田 第2-3展示室

入場
無料

特別対談 「描くことの衝動」

木下晋 (鉛筆画家) × 三科琢美 (本展企画作家)

1/13(土)14:00 ~ 15:00 第2展示室 定員30名(先着順)

主催

ファン・デ・ナゴヤ美術展2024「線を掴む-未知の形を発見しよう!」実行委員会

公益財団法人名古屋市文化振興事業団



撮影：林裕己



《地中の言葉》2023



MISHINA Takumi
三科 琢美
ミシナ タクミ

1981年 愛知県生まれ。主に、鉛筆やペンを用いて線や形を重ね、紙を破る・つなげる・固めるなどの行為を加えながらドローイングによる作品を制作している。

2011年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 博士後期課程 満期退学

2017年「日本のアール・ブリュット『KOMOREBI』展」フランス国立現代芸術センター/フランス

2018年「生成のリズム」のこぎり二ノ一宮

2023年「PICNICVol.2」eight art house/ 安城



《線の生命体》2022

特別対談「描くことの衝動」

登壇者：木下晋 / 三科琢美

日時：1月13日(土) 14:00 ~ 15:00

会場：第2展示室 定員：30名(先着順)

※参加無料



● 同時開催企画

- 第1展示室「PINK Shine」
企画・出品作家：上山明子
- 第5～7展示室「わたしの部屋、あなたの部屋」
企画・出品作家：佐野魁
- 第4展示室「ファン・デ・ナゴヤ 25年のヒストリー」
企画：名古屋市文化振興事業団

線を掴む

本展覧会では、来場者がゴツゴツとしたドローイングの固まりや、縦横無尽に張り巡らされた有機的につながりあうドローイングを体感することで、生命(エネルギー)の源となる未知の形を発見してもらいたい。



「好奇心」が形となったものである。

それは人が本来持っている「驚き」や不定形なもの。

分断されたものではなく、常に動き変化するのである。

凸凹とした紙は描きにくいのだが、そのことがかえって予想を超えた未知の線を生み出す。

私が、あえて凸凹とした紙をつくり、その上に線を描くのにも似たような理由がある。

ドライで手前だけを照らしながら走っていると何とも言えない期待感を感じる。

例えば、車を運転している時、見通しのきかない道をヘッ

としてそれは完成のイメージに向かっていてのではない。

経験が増えていくと人は、結果を予測するようになるが、

誰かが幼い頃、無心になって紙の上に線を走らせたり、砂場で、土の感触を五感で体感した経験がある。

次々に生まれ、手の中で動き回る線や形を必死で掴もうとするようだ。

未知の形を発見しよう!



名古屋市民ギャラリー矢田

名古屋市中区大幸南一丁目1番10号 カルポート東 3F/4F TEL:052-719-0430

交通アクセス

- 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」下車1番出口南へ徒歩5分
- ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」下車南へ徒歩3分
- 市バス「大幸」下車徒歩5分(名駅15号系統、東巡回系統)



感動を育てる種をまこう。

